

ライニング収納形フラッシュタンク

品番：SP532BA系

必ず実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

安全に関するご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

同梱部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

各部のなまえと施工のポイント・・・・・・・・・・・・・・ 2

施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

取付方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～11

■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

試運転後の確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

○給水フィルターの掃除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

取り付け後の確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～22

○水たまり面が低下する場合の対応方法(大洗浄4.8L、小洗浄3.8L)・・・・ 13

○大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切替方法・・・・・・・・・・・・・・ 15

○水たまり面が低下する場合の対応方法(大洗浄6L、小洗浄5L)・・・・ 18

○大洗浄8L、小洗浄6.5L仕様への切替方法・・・・・・・・・・・・・・ 21

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

**必ず
実施**

水圧の測定と 給水フィルターの掃除 が必要です。

**水圧不足やフィルターの詰まりがあると
吐水、止水不良のおそれがあります。**

- 設置前に水圧を測定ください。
- 試運転後、給水フィルターの掃除を
してください。

※最低必要水圧に満たない場合
低水圧用止水栓THF36RA(別売品)とセットすると
0.05MPa(19L/分流動時)まで設置可能になり
ます。

水たまり面の低下・水量変更について

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったり
すると、水たまり面が低下する場合があります。

※低下すると汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下した場合と、自治体によって洗浄
水量の規制がある場合は、P.13～P.22の設定変更
にて対応してください。

給水管のエア抜きについて

新築・改修工事後や、水道断水復旧後は、給水配管中
に空気の混入が考えられますので、空気抜き弁を取り
付けるなど、必ず空気が管内に残らないように配慮し
てください。

安全に関するご注意

(安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しく
お取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り
付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然
に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱い をすると、人が傷害を負う可能性および物的損 害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる
拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

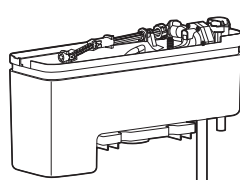
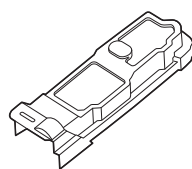
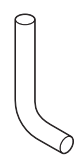
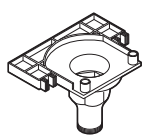
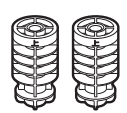
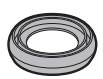
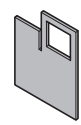
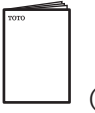
	は、してはいけない 「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく 「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

⚠注意

	陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財な どをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、 たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財など をぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす 財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品 および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に 行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

フラッシュタンク	タンクふた	結露防止カバー	スパッド	袋ナットセット	洗浄管	取付ボルト
 (一式)	 (1個)	 (1個)	 (1個) スパッドの取り 付けについては 便器同梱の施工 説明書をご参照 ください。	 袋ナット  パッキングガイド  ゴムパッキン (一式)	 (1個)	 (2個)
接続継手	固定ナット	止水栓	パッキン	塞ぎシート	施工説明書	取扱説明書
 (1個)	 (2個)	 (1個) 止水栓用の給水立ち上げ位置 に関しては、壁掛大便器セット の商品図をご参照ください。	 (1個)	 (1個)	 (1部)	 (1部) ※設置工事完了後、お客様に お渡しください。
						 (1個)

各部のなまえと施工のポイント



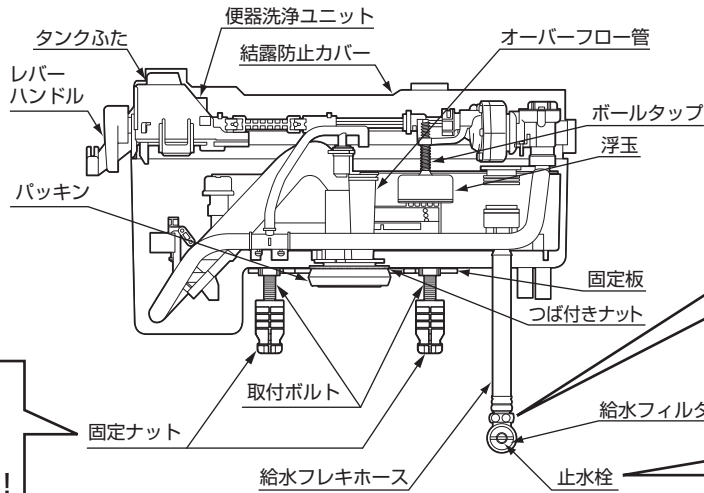
工具使用禁止

止水栓・袋ナット・便器
洗浄ユニット以外は工具
は必要ありません！
手で締め付けてください。

ポイント①



工具使用禁止
手で締め付けること！
(➡③-④)



ポイント②

パッキンが付いていることを確認し、取り付いていないときは確実に取り付けること！(➡③-⑥)

ポイント③

給水フィルター掃除をするときは必ず止水栓を止めること！(➡⑧)

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

■設置前に水圧を測定ください。

最低必要水圧：0.07MPa(19L/分流動時)が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことや止水不良になることがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。

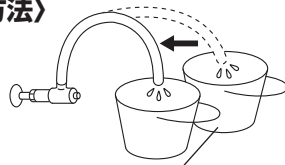
注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。

注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水圧と流量の確保のため)

〈バケツによる簡易測定方法〉

〔測定要領〕

10秒間水を入れて
水量を計る



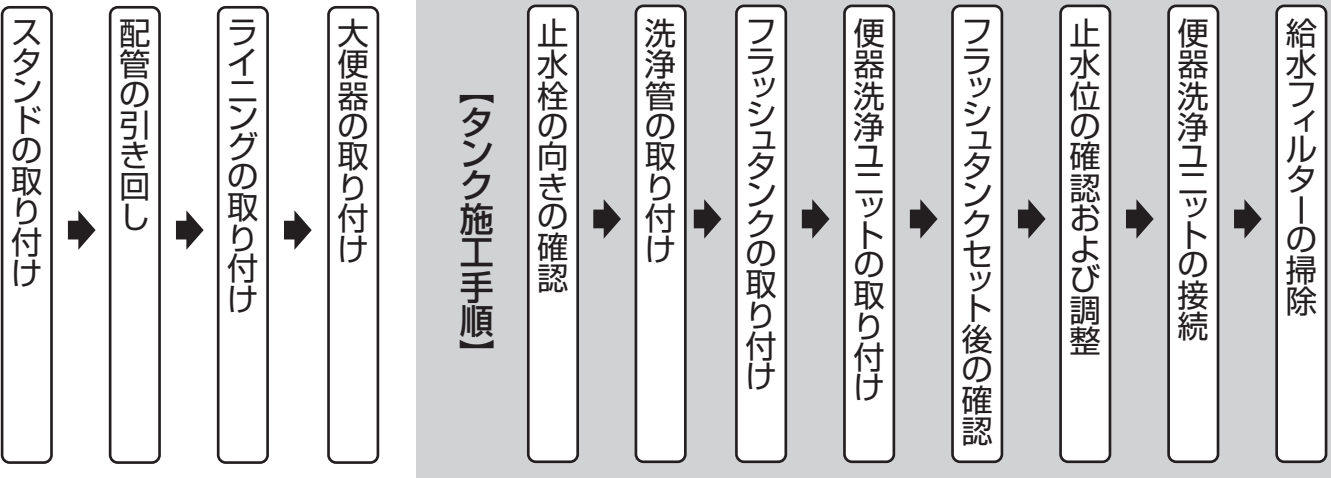
補助バケツを用意してください

下表の水量があれば最低必要水圧は確保できています。

水量 (10秒間)	本商品同梱の止水栓	4.5L以上
	低水圧用止水栓(オプション品)	4.3L以上

施工手順

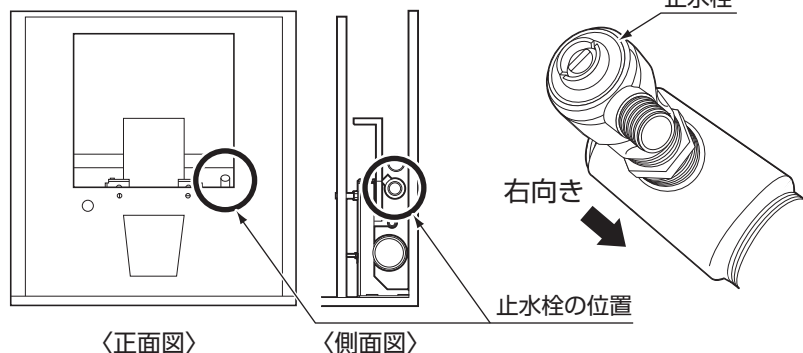
納まりや施工手順を事前に十分検討し、各工程における他工事との連絡調整を行ってください。



壁掛大便器以外の器具に関しては、各器具に同梱の施工説明書を参照して、取り付けを完了してください。

取付方法

1 止水栓の向きの確認



確認：止水栓は斜め上方向に壁から約45°立ち上げで、接続方向は向かって右向き。

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください。

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる吐水、止水不良を起こすおそれがあります。

※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

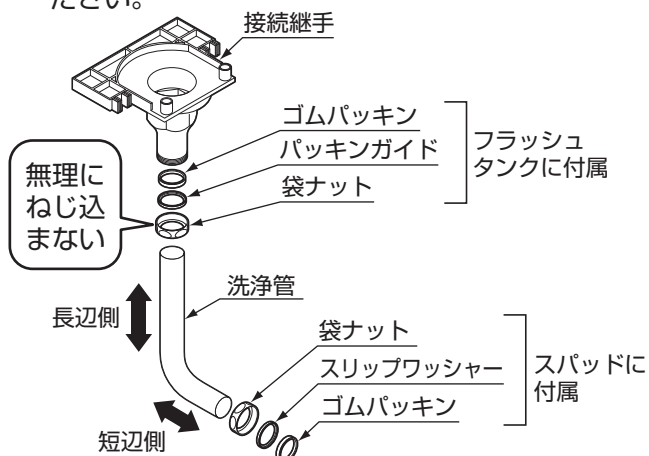
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

2 洗浄管の取り付け

①前面の点検口を取り外す。

②洗浄管に袋ナット、パッキンガイド、ゴムパッキンを通し、接続継手を差し込む。

※ここでは洗浄管が外れない程度に仮組みしてください。



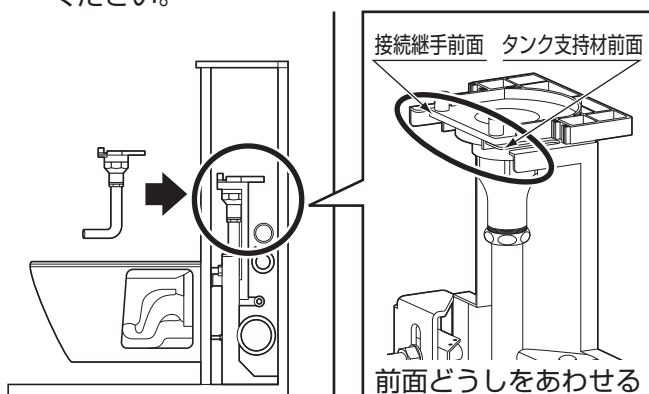
注意



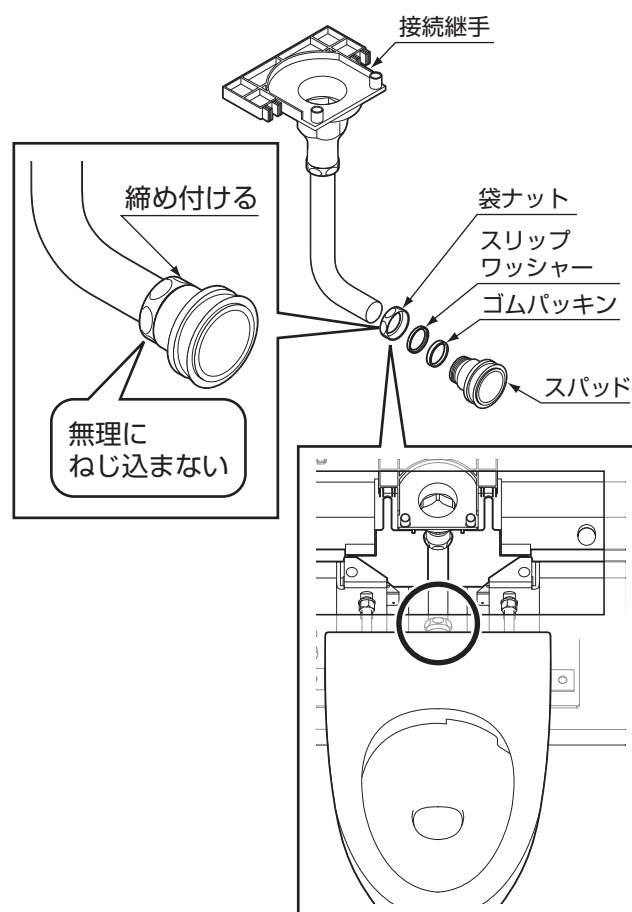
- ・洗浄管の接続方法を間違えないように注意してください。
- ・袋ナットを接続継手に接続する際に、スムーズに回らない時は無理に回したり締め込んだりせず、袋ナットを再度はめ直してください。

③②で仮組みした接続継手を、フレーム内のタンク支持材に載せ、スパッドに差し込む。

※接続継手前面とタンク支持材の前面をあわせてください。



④洗浄管とスパッドを連結させ、袋ナットで締め付ける。



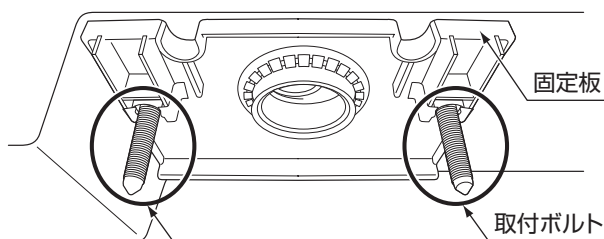
⑤接続継手が水平であることを確認する。

確認

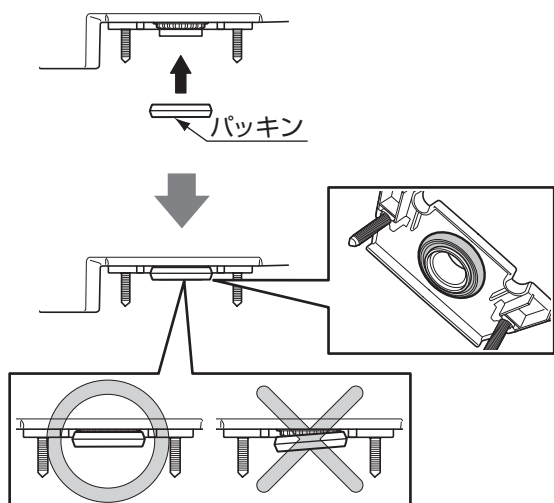
- ・接続継手が前後左右水平であること。
- ※タンク接続管が水平でない場合、タンクを設置した際、タンクが傾きライニングやスタンドと干渉します。

③ フラッシュタンクの取り付け

- ① 取付ボルトを固定板に取り付ける。
※カチッと音がするまで取り付けてください。



- ② フラッシュタンクにパッキンを取り付ける。
※パッキンを湿らせると、取り付けやすくなります。



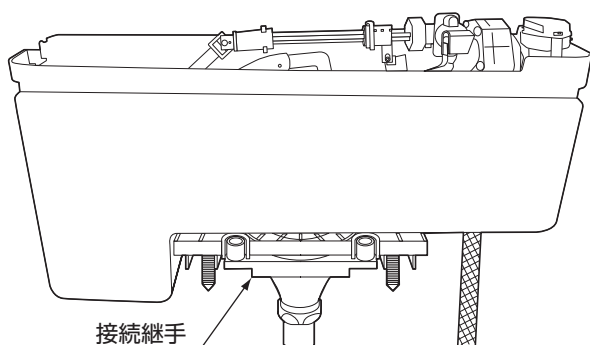
⚠ 注意



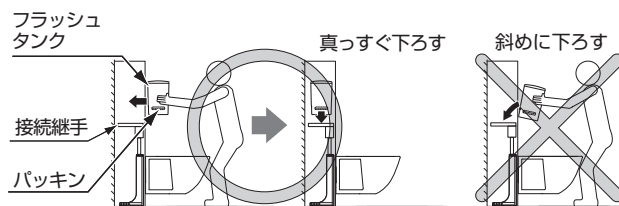
必ず実行

- 同梱のパッキンを上図のように取り付ける
 - パッキンはフラッシュタンクの底に当たるまで、確実に挿入する
- 正しく取り付けないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

- ③ フラッシュタンクを接続継手にセットする。



下図のようにフラッシュタンクを奥へスライドさせ、真っすぐ下ろすように接続継手に取り付けると確実にシールできます。
※パッキンが落下した場合は再度タンクに取り付けてください。



⚠ 注意



禁止

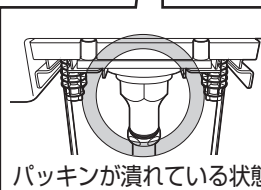
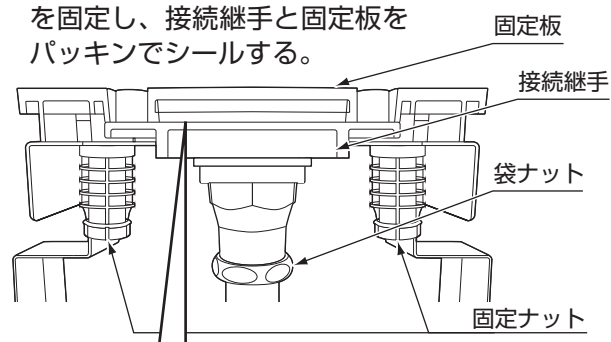
フラッシュタンクを斜めに下ろさない
パッキンが正常に取り付かずシール不良となり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



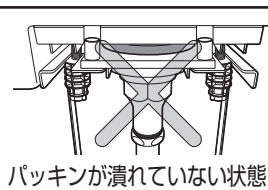
必ず実行

パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く
水漏れするおそれがあります。

- ④ 固定ナットでフラッシュタンクを固定し、接続継手と固定板をパッキンでシールする。



パッキンが濡れている状態



パッキンが濡れていない状態

⚠ 注意



必ず実行

左右の固定ナットを確実に締める
左右の固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

固定ナットを手締めで回らなくなるまでかたく締め付けます。

※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



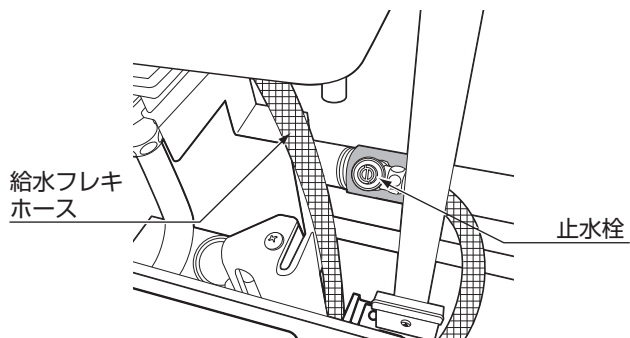
注意



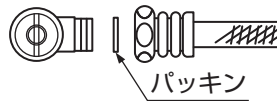
固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

③ フラッシュタンクを取り付け（つづき）

- ⑤** 洗浄管と接続継手の袋ナットを増し締めする。
※締め付けの目安
ねじ座面が当たるまで手で締め付け、そこから
工具で2/3回転さらに締め付ける。
- ⑥** フラッシュタンクの給水フレキホースを止水栓
に接続する。



- ・ 給水フレキシホースにねじれ、折れなどのないよう
に接続する。
 - ・ パッキンを右図の位置に必ず組み込む。
- 



注意

再生水使用の場合、給水接続は水道水と再生水を間違えないように注意してください。

⚠ 注意



必ず実行

フラッシュタンクにパッキンがセットされていることを確認する

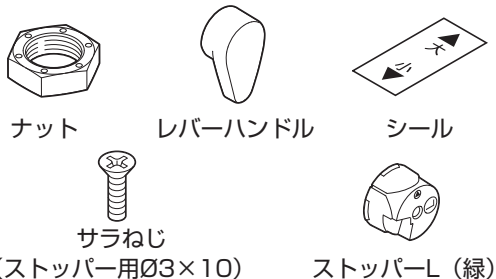
水漏れして建物や設備などをめらす財産
損害発生の原因となります。

4 便器洗浄ユニットの取り付け

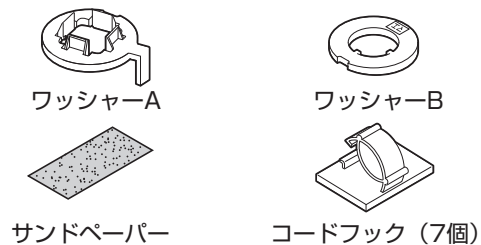
停電時洗浄レバーがある場合は停電時洗浄レバー施工説明書をご参照ください。
別同梱品のウォシュレット専用便器洗浄レバーユニットを使用します。

①部品を選択する。

使用部品



使用しない部品



既設部

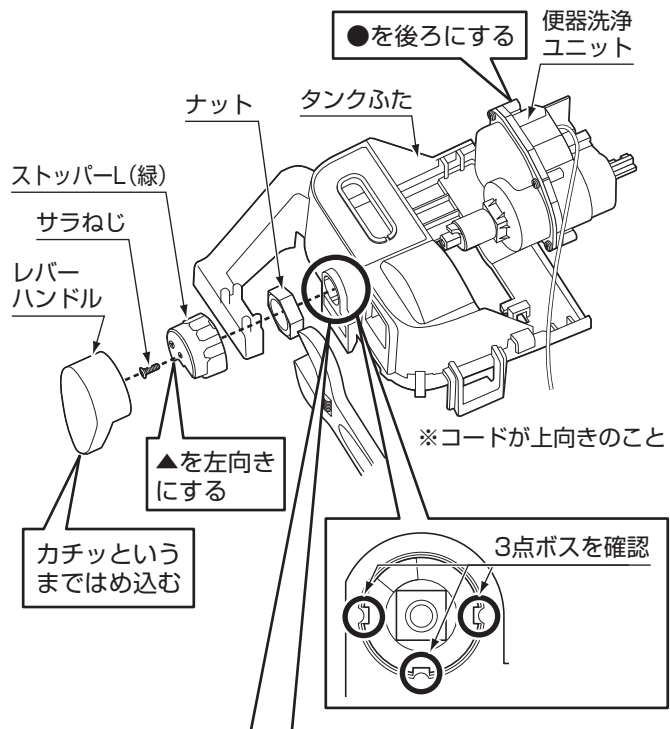


既設のものを使用します。
捨てないでください。

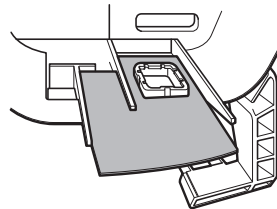
フラッシュタンク同梱部品



②タンクふたに便器洗浄ユニットを取り付ける。

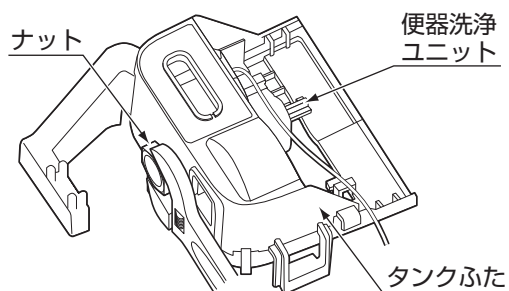


塞ぎシートをタンクふたの内側に取り付ける。
 ※便器洗浄ユニットの取り付け部に塞ぎシートの穴をあわせること
 ※塞ぎシートのセパレータははがさないこと



4 便器洗浄ユニットの取り付け（つづき）

- ③ 便器洗浄ユニットをタンクふたに取り付け、ナットをモンキーレンチでしっかり締め付ける。



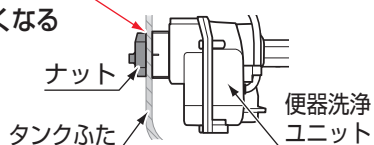
ポイント

※上面から見たイラスト



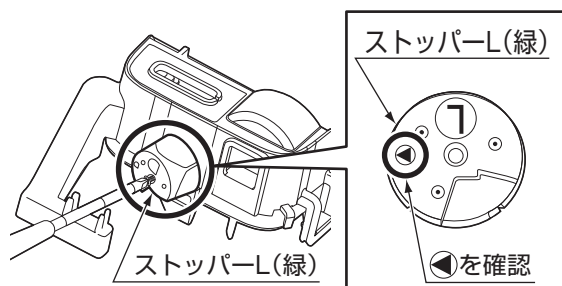
タンクふたとの
すき間がなくなる
まで締める

すき間がなくなるまで、
ナットを締め付ける



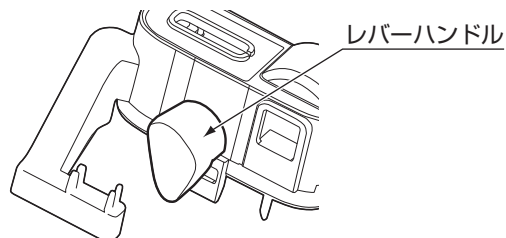
- ④ ジョイントから既設のピンを取り外す。

- ⑤ ▲印を左にしてストッパーL（緑）をはめ込み、同梱のねじで固定する。

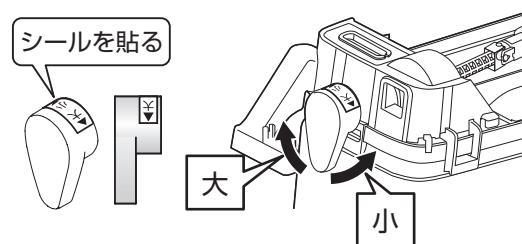


ガタツキがないようにしっかり締め付けてください。

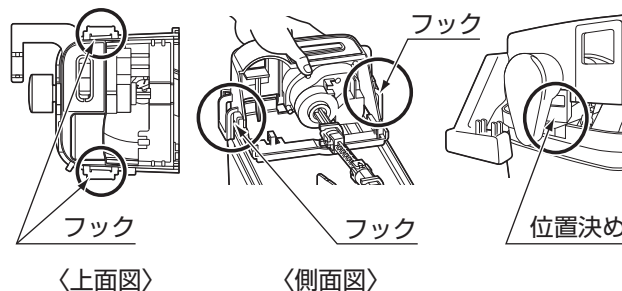
- ⑥ レバーハンドルをストッパーL（緑）に「カチッ」と音がするまで差し込む。



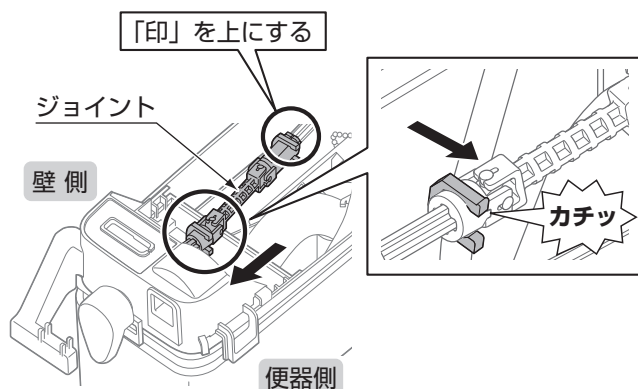
- ⑦ 大小シールをレバーハンドルに貼る。



- ⑧ タンクふたをタンクに取り付ける。
※位置決め1カ所と、フック2カ所を固定する。



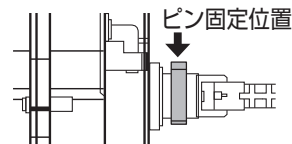
- ⑨ 便器洗浄ユニットのピン固定位置までジョイントを差し込み、ピンで固定する。
※ジョイント奥の印を上にして差し込む。



ポイント

※上面から見たイラスト

ジョイントが抜けないことを確認します。



5 フラッシュタンクセット後の確認

水漏れ確認

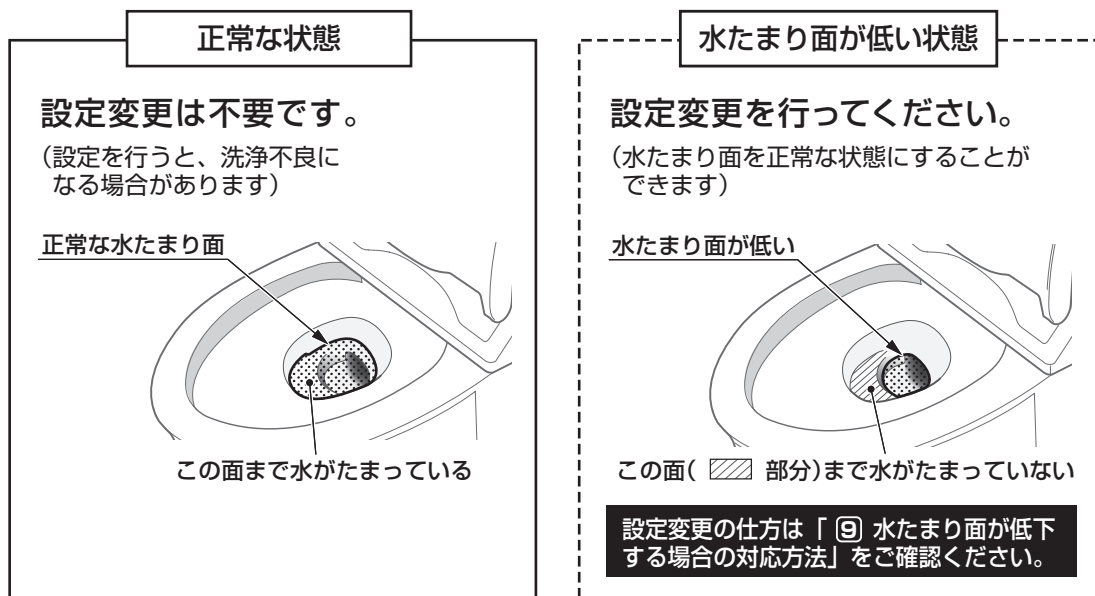
給排水管接続部が水漏れしていないことを確認してください。
点検にあたっては、点検口（前面・上面）を取り外して作業してください。

- ①給水一次側（給水管接続部・止水栓まわり）
- ②フラッシュタンク接続部
- ③排水継手、接続部

水漏れが見られる場合は、排水パッキンの取り付けから再施工してください。

通水試験

- ・ 止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
- ・ 2～3度洗浄させて、便器・フラッシュタンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
※洗浄した際、約30秒程度水が流れます。止水不良ではありません。
- ・ フラッシュタンク内に水が満水にならないと洗浄できません。



〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

- ・ 初期通水の場合、配管工事上の異物が混入していることがあるため、各器具部で詰まり、ゴミかみが発生し、正しい流量・作業が確保されないことがありますので注意してください。
(止水栓の給水フィルターに詰まった異物はブラシなどで取り除いてください。)

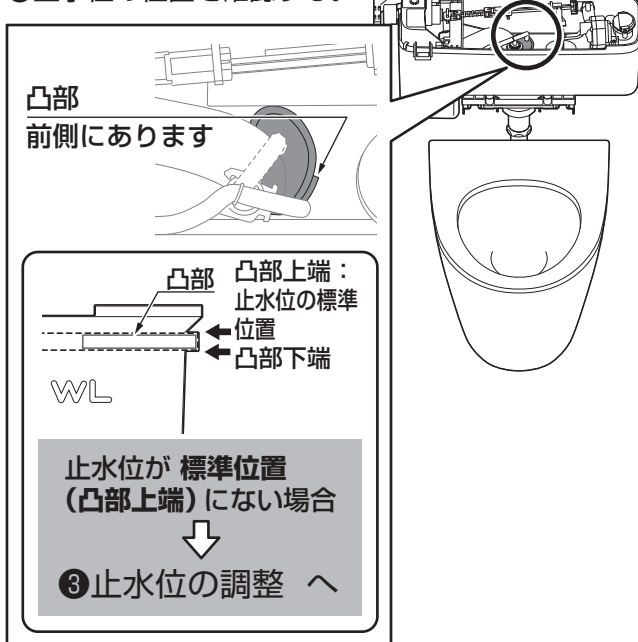
6 止水位の確認および調整

① 止水栓を閉めて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



② 止水位の位置を確認する。



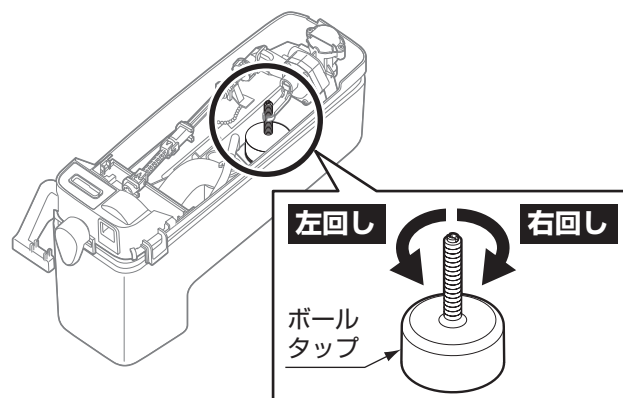
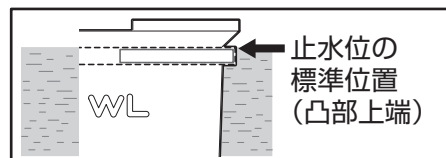
③ 止水位の調整を行う。 (止水位が標準位置凸部上端にない場合)

(1) 止水栓を開く。



(2) ボールタップを回し、止水位を標準位置に確実にあわせる。

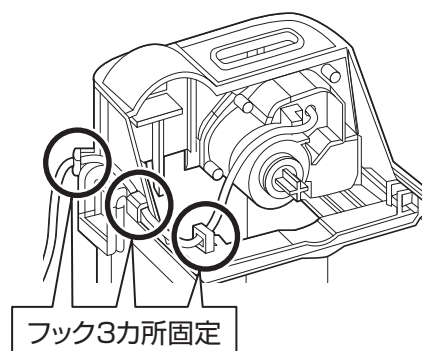
止水位を
上げる場合：上方より見て左回し
下げる場合：上方より見て右回し



④ 取り付け完了後の確認をする。

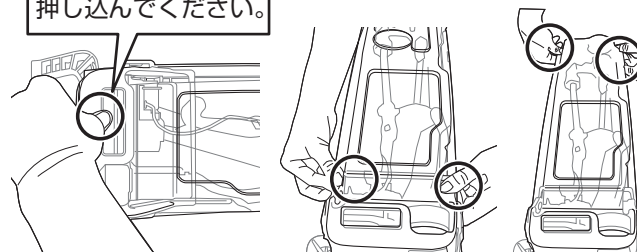
- ・ 止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

⑤ 便器洗浄ユニットのコードを取り出す。 ※コードをフックに3カ所引っ掛ける。



⑥ 結露防止カバーを取り付ける。 ○で囲んだ箇所を5カ所押し込む。

押し込んでください。



7 便器洗浄ユニットの接続

7-1 便器洗浄ユニット付きウォシュレットの場合

作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出しておく。

① ウォシュレットを取り付ける。

▶ ウォシュレット施工説明書参照

② 便器洗浄ユニットのコードを引き回す。

便器洗浄ユニットのコードをラインニング前板開口部から引き出してください。

③ 便器洗浄ユニットのプラグを接続する。

コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。

④ ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む。

⑤ 便器洗浄リモコンを取り付ける。

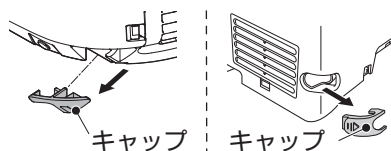
▶ 便器洗浄リモコン取付説明書参照

⑥ リモコンで便器洗浄を確認する。

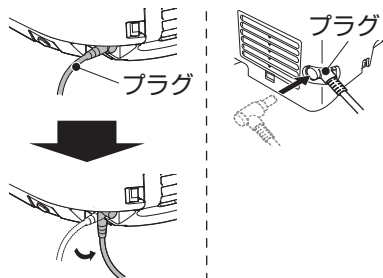
・「大」「小」のボタンを押す、またはセンサーに手をかざして便器洗浄を行うことを確認する。

※連続して操作すると作動しません。約10秒たってからもう一度ボタンを押す、またはセンサーに手をかざしてください。

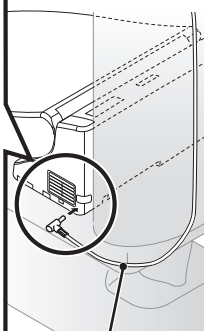
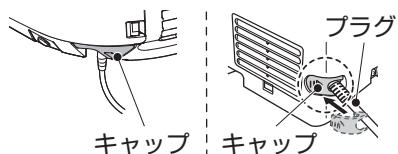
① キャップをはずす



② プラグを横向きに **根元まで確実に差し込む**



③ キャップを取り付ける

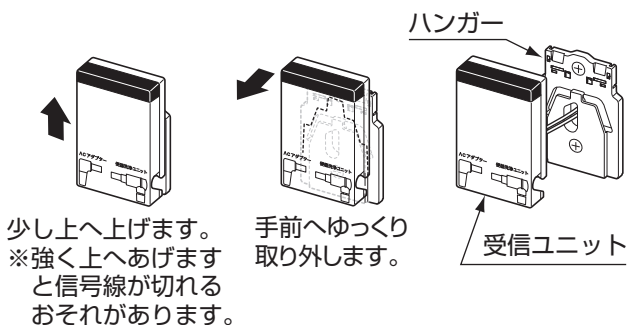


機種によって、製品の形状が異なります。

7 便器洗浄ユニットの接続 (つづき)

7-2 リモコン便器洗浄ユニットの場合

①受信ユニットをハンガーから外す。

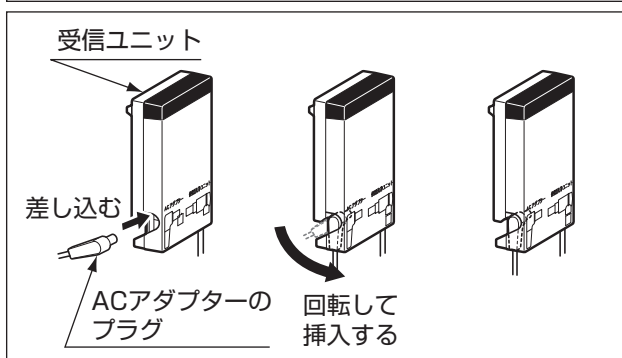
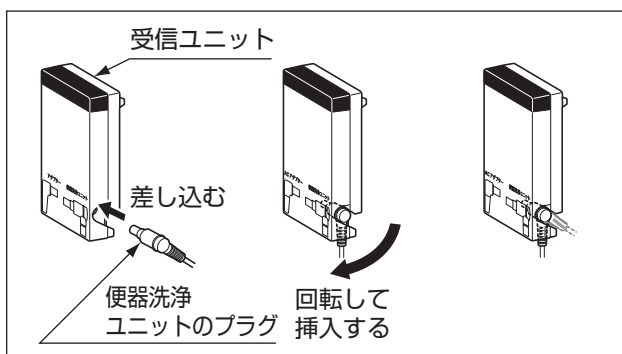


②便器洗浄ユニットのコードを引き回す。
便器洗浄ユニットのコードをラインニング前板開口部から引き出してください。

③便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む。

①それぞれのプラグを受信ユニットに差し込む。
(下図参照)

②下に回転させ、カバー内に収める。

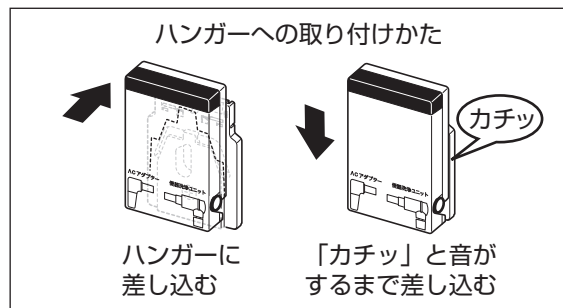
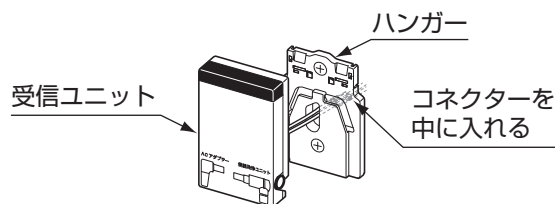


注意

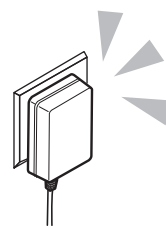


プラグを逆に差し込まない。
壊れる可能性があります。

④受信ユニットをハンガーにセットする。



⑤ACアダプターをコンセントに差し込む。
ACアダプターのプラグを根元まで確実に差し込む。



⚠ 警告



必ず実行

ACアダプターは、必ずコードが下向きになるように取り付ける

コードを上向きに取り付けると、ACアダプターの差し込みがあまくなり、感電の原因になります。

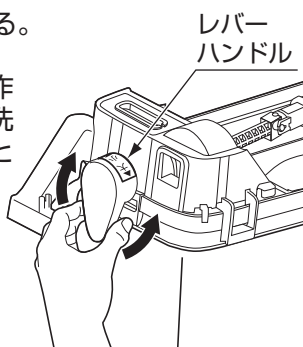
コードフックの取り付け時に
余ったコードフックは、配線
がたるまないように貼り付け
て使用してください。

7 便器洗浄ユニットの接続（つづき）

取り付け後の確認

①手動で便器洗浄を確認する。

レバーハンドルを手で操作して、便器洗浄が大・小洗浄とも正常に行われることを確認する。



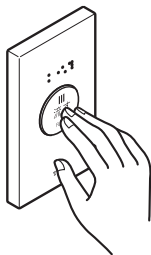
正常に作動しない場合

- ・レバーハンドルとジョイントの接続は正しくできていますか？

②リモコンによる便器洗浄を確認する。

- ・「大」「小」のボタンを押す、またはセンサーに手をかざして便器洗浄を行うことを確認する。

※連続して操作すると作動しません。
約10秒たってからもう一度ボタンを押す、またはセンサーに手をかざしてください。

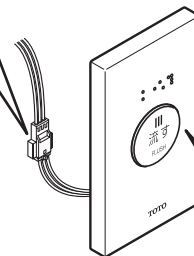


点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

コネクターの確認

コネクターが接続されているか確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

試運転後の確認事項

8 給水フィルターの掃除

給水フィルターの掃除をしてください。
フィルターの詰まりがあると吐水、止水不良のおそれがあります。

⚠注意

給水フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る

手順を守らないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

給水フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う

水圧で給水フィルターが飛び出すことがあります。

給水フィルターは確実に締める

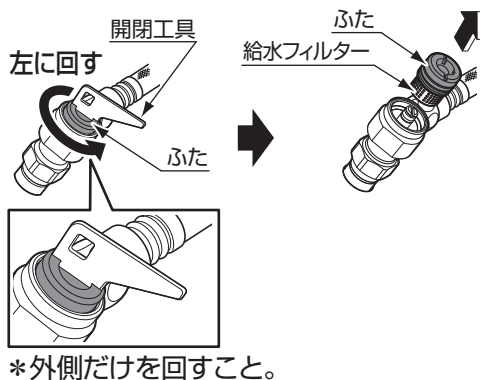
確実に締めないで水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

① 止水栓を閉めて給水を止める。

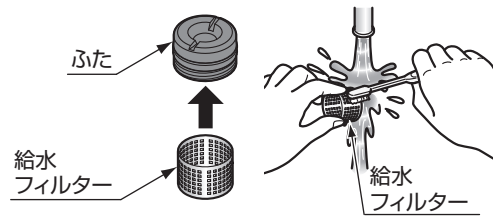
※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



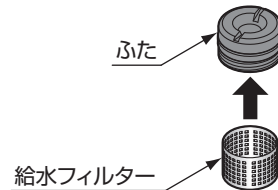
② 給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り出す。



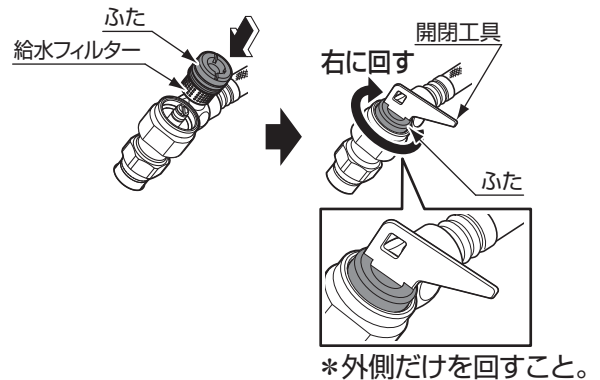
③ 給水フィルターをふたから取り外し、掃除をする。 ※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。



④ 給水フィルターをふたに取り付ける。



⑤ 給水フィルターを元の位置に取り付け、ふたを開閉工具で締め付ける。



⑥ 止水栓を開ける。

※止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



※試運転後、タンク内に異物がないことを確認してください。
異物があると吐水、止水不良のおそれがあります。

取り付け後の確認事項

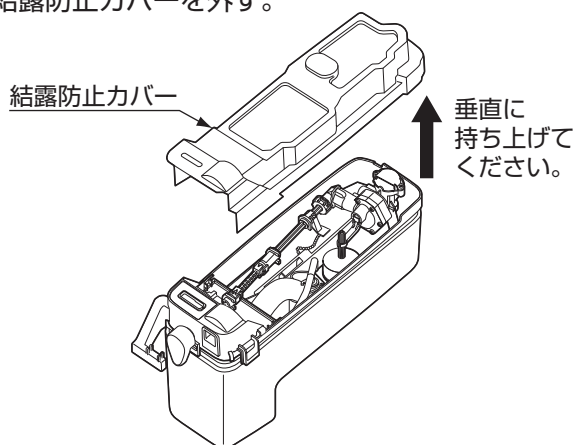
⑨ 水たまり面が低下する場合の対応方法(大洗浄4.8L、小洗浄3.8L)

① 止水栓を閉めて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様に
お渡ししてください。

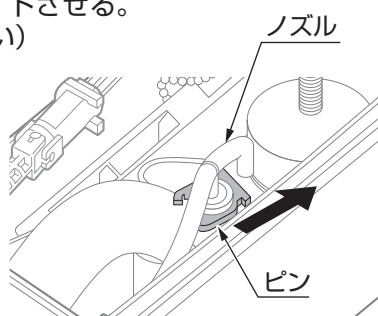


② 結露防止カバーを外す。

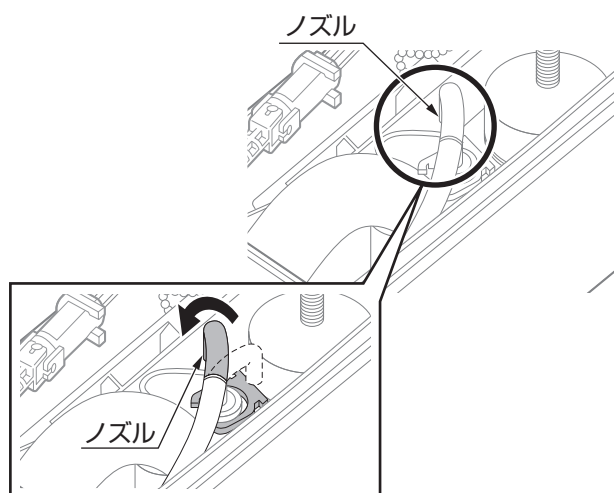


③ ノズルの向きを変える。

(1) ピンをスライドさせる。
(引き抜かない)



(2) ノズルを回転させる。



(3) ピンをスライドさせ、固定する。

※ピンは「カチッ」と音がする
まで取り付けてください。



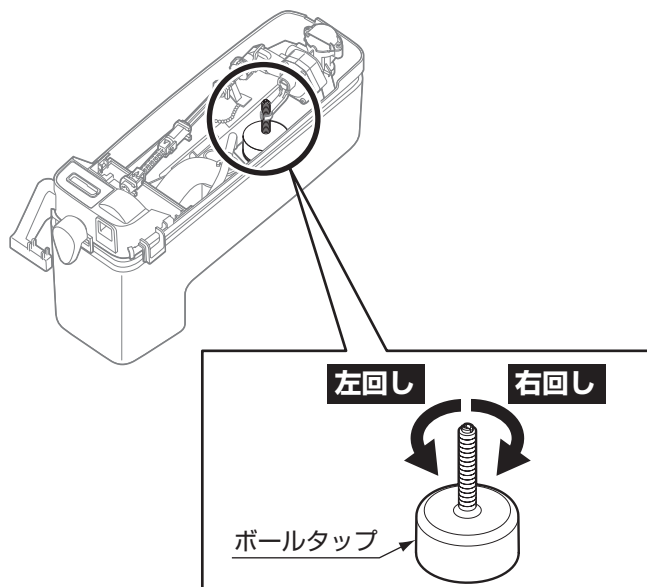
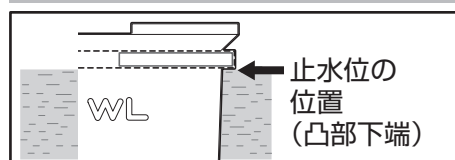
④ 止水位の位置を調整する。

(1) 止水栓を開く。



(2) ボールタップを回し、止水位を凸部下端に
確実にあわせる。

止水位を
上げる場合：上方より見て左回し
下げる場合：上方より見て右回し

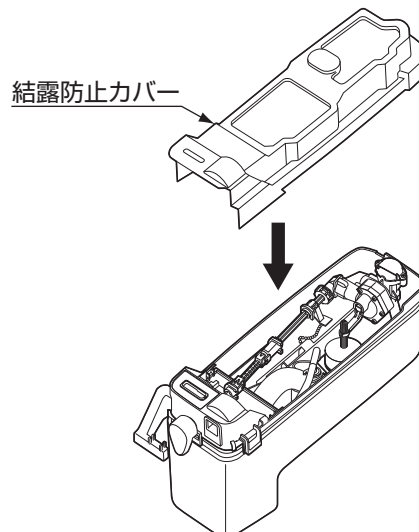


⑨ 水たまり面が低下する場合の対応方法(大洗浄4.8L、小洗浄3.8L)(つづき)

⑤取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

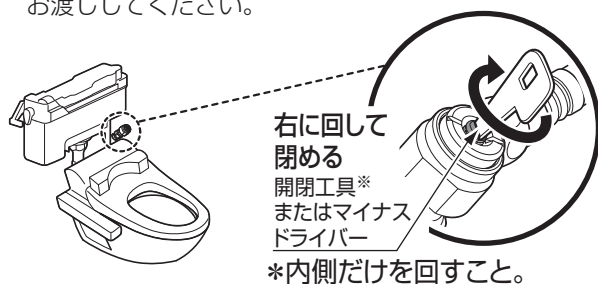
⑥結露防止カバーを元に戻す。



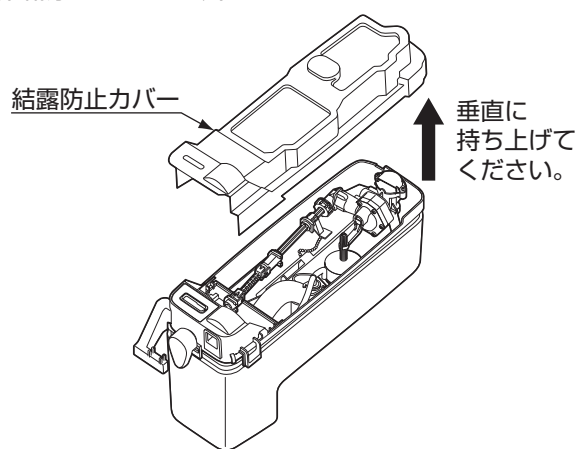
10 大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切替方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。

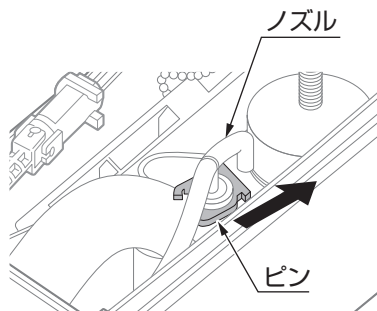
※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様に
お渡ししてください。



② 結露防止カバーを外す。



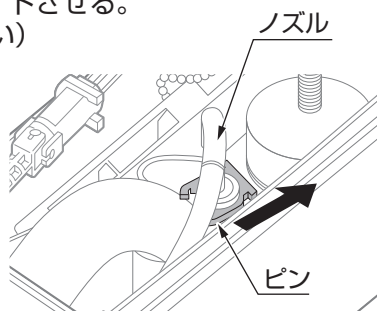
③ ノズルの向きがタンク側にあることを確認する。



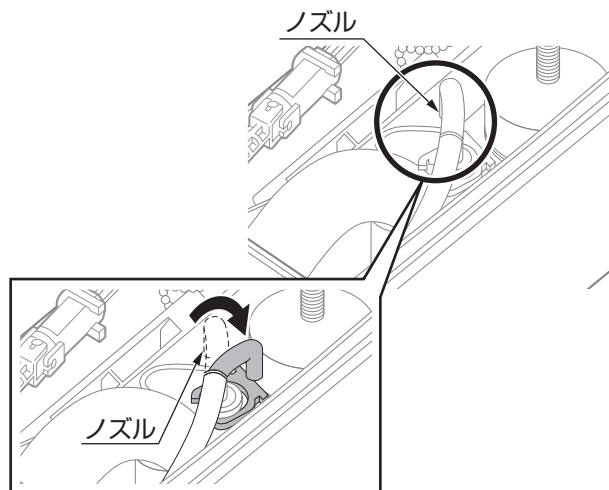
〈ノズルの向きがタンク側でない場合〉

③ ノズルの向きを変える。

- (1) ピンをスライドさせる。
(引き抜かない)

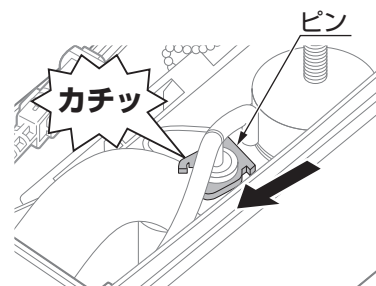


(2) ノズルを回転させる。



(3) ピンをスライドさせ、固定する。

※ピンは「カチッ」と音がする
まで取り付けてください。



④ 止水位の位置を調整する。 (止水位が標準位置凸部下端にない場合)

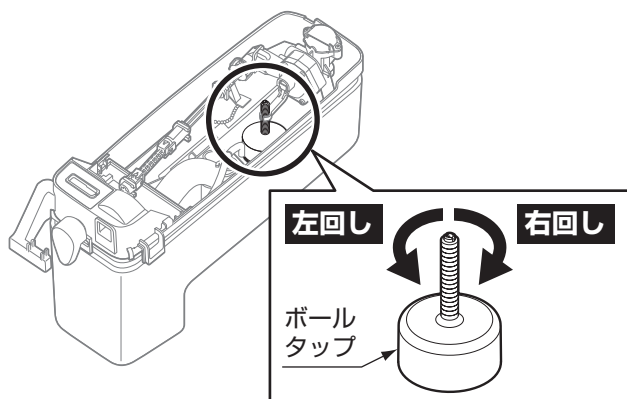
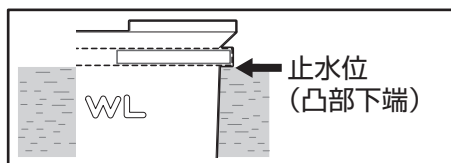
(1) 止水栓を開く。



10 大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切替方法（つづき）

- (2) ボールタップを回し、止水位を凸部下端に確実にあわせる。

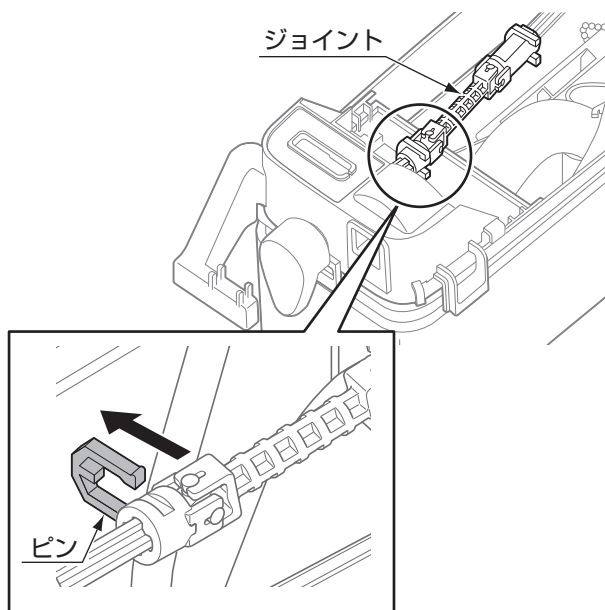
止水位を
上げる場合：上方より見て左回し
下げる場合：上方より見て右回し



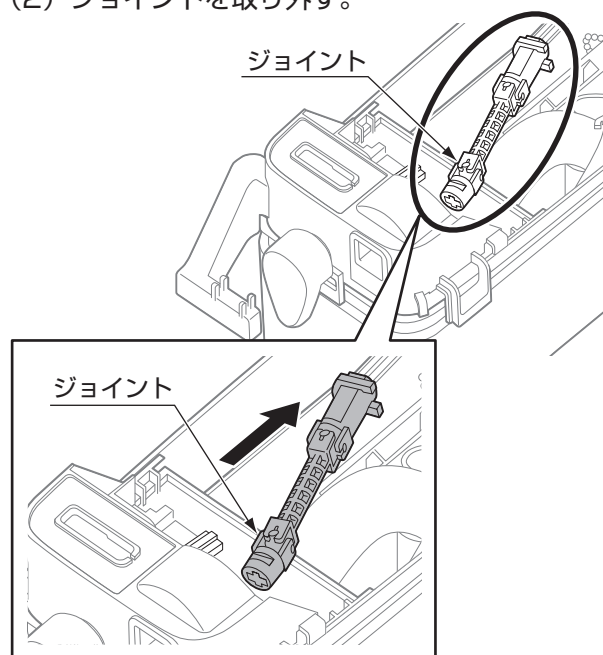
- (3) 止水栓を閉める。

⑤ 切替弁 (赤) の調整を行う。

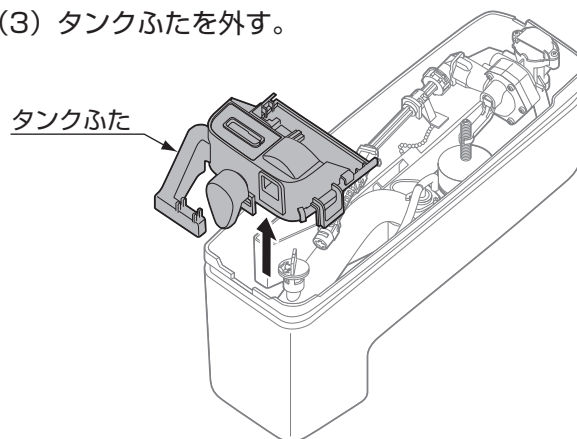
- (1) ジョイントの“ピン”を取り外す。



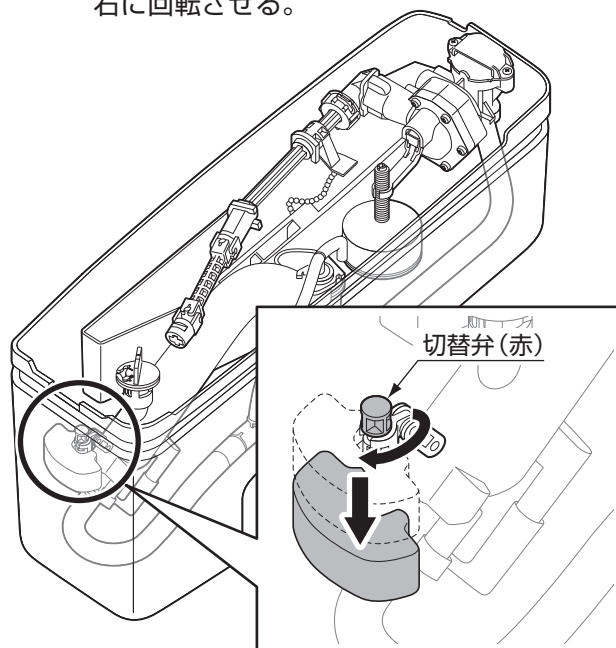
- (2) ジョイントを取り外す。



- (3) タンクふたを外す。



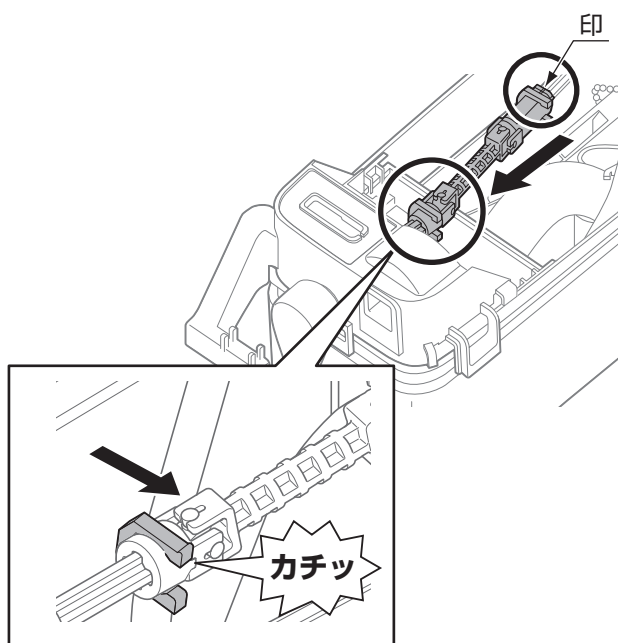
- (4) 切替弁 (赤) を下に当たるまで右に回転させる。



10 大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切替方法（つづき）

(5) ジョイントとタンクふたを (1) ~ (3) と逆の手順で取り付ける。

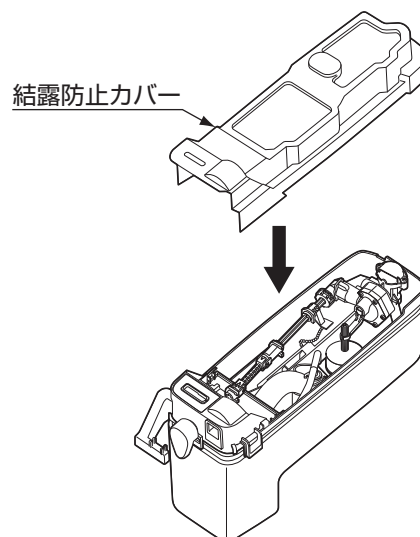
- ・ジョイント奥の印を上にして差し込む。



⑥ 取り付け完了後の確認をする。

- ・止水栓が開いていることを確認し、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・正常に洗浄するか確認する。
- ・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

⑦ 結露防止カバーを元に戻す。



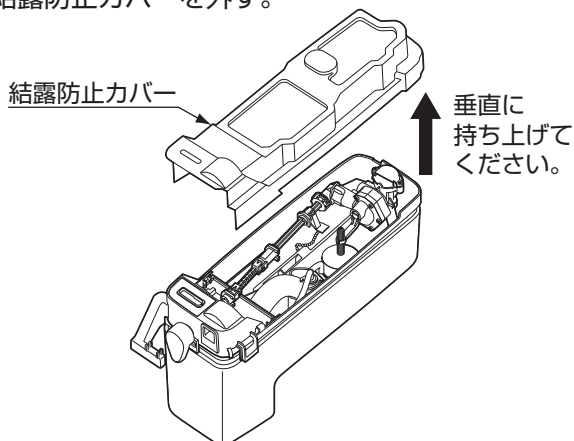
11 水たまり面が低下する場合の対応方法（大洗浄6L、小洗浄5L）

① 止水栓を閉めて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様に
お渡しください。

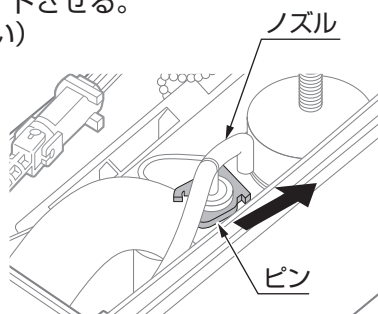


② 結露防止カバーを外す。

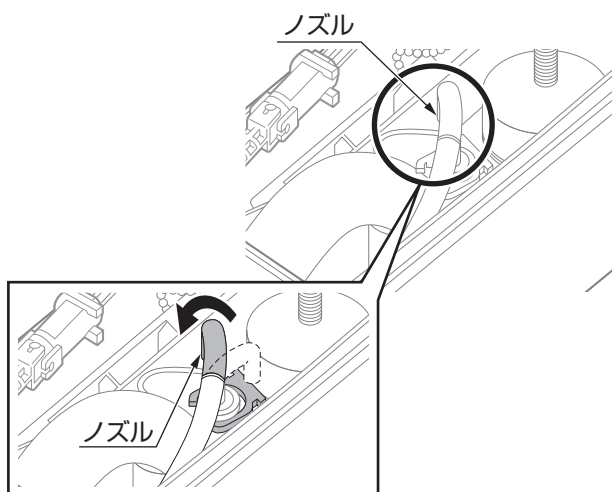


③ ノズルの向きを変える。

- (1) ピンをスライドさせる。
(引き抜かない)

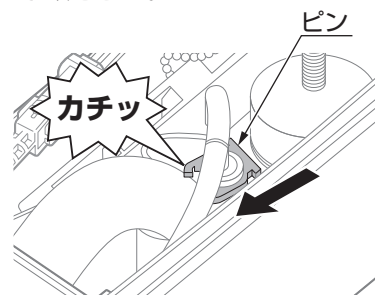


- (2) ノズルを回転させる。



- (3) ピンをスライドさせ、固定する。

※ピンは「カチッ」と音がする
まで取り付けてください。



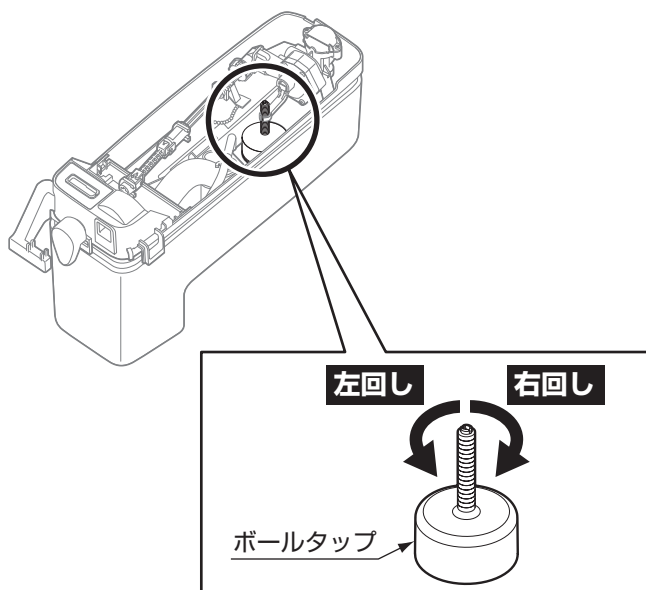
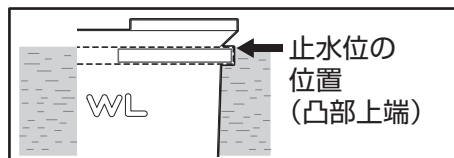
④ 止水位の位置を調整する。

- (1) 止水栓を開く。



- (2) ボールタップを回し、止水位を凸部上端に
確実にあわせる。

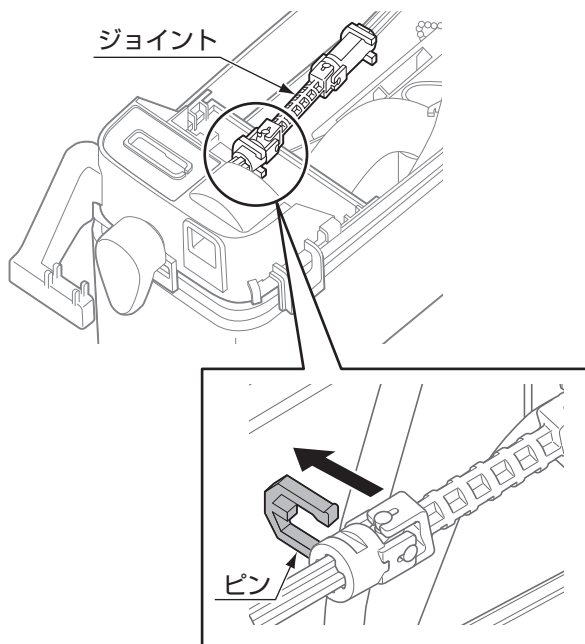
止水位を
上げる場合：上方より見て左回し
下げる場合：上方より見て右回し



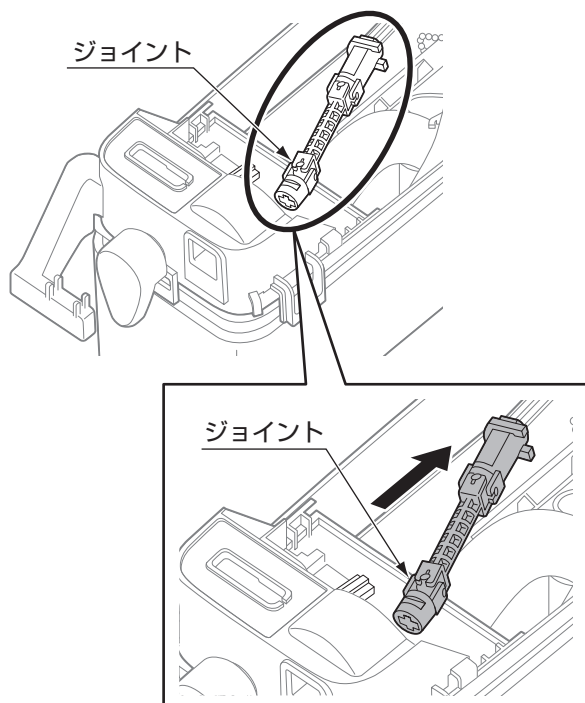
II 水たまり面が低下する場合の対応方法(大洗浄6L、小洗浄5L) (つづき)

⑤ 流量調整弁(赤)と切替弁(赤)の調整を行う。

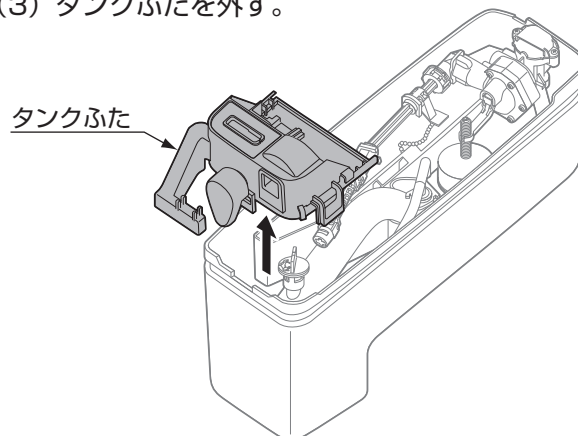
(1) ジョイントの“ピン”を取り外す。



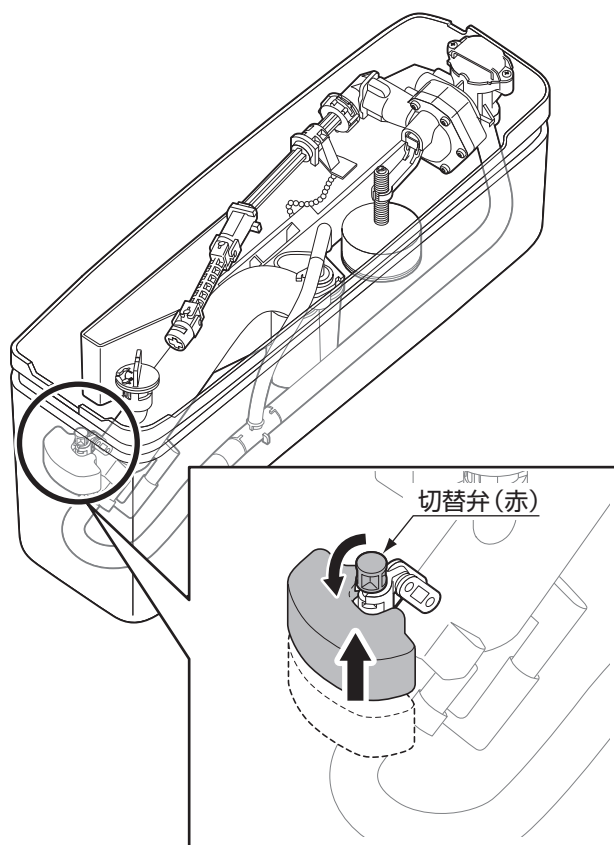
(2) ジョイントを取り外す。



(3) タンクふたを外す。

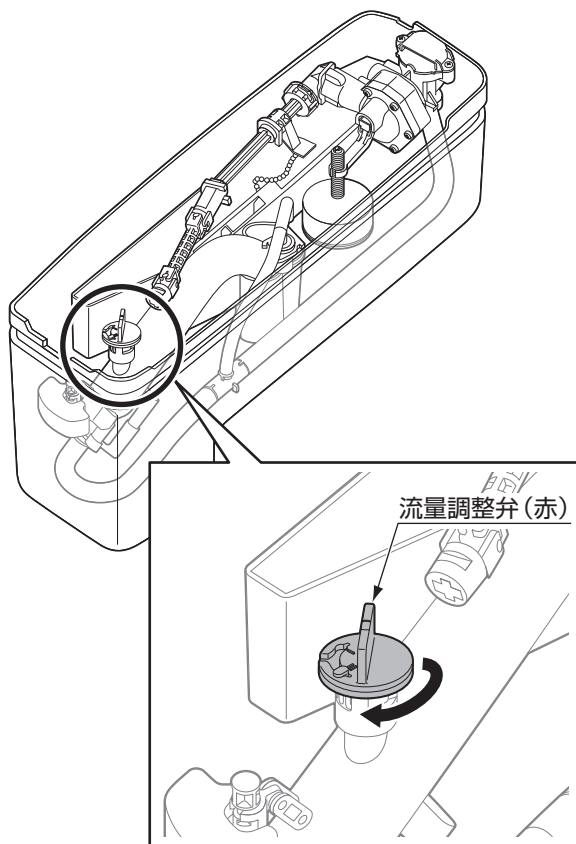


(4) 切替弁(赤)を上にあたるまで左に回転させる。



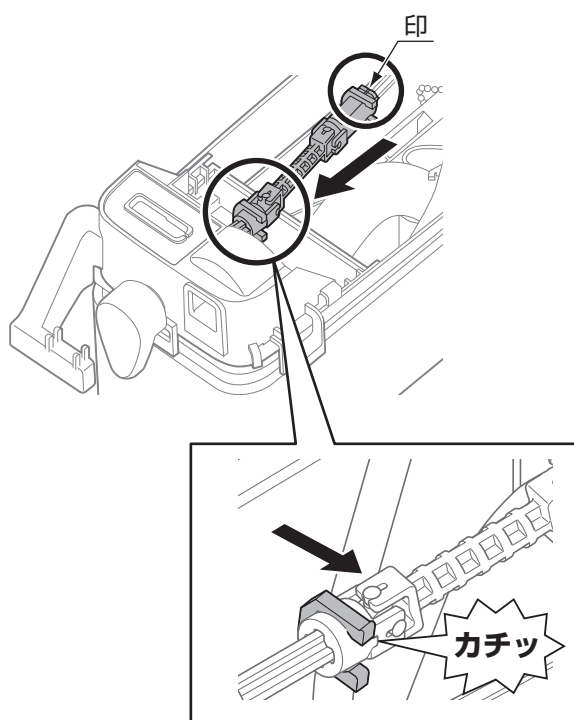
II 水たまり面が低下する場合の対応方法(大洗浄6L、小洗浄5L) (つづき)

(5) 流量調整弁(赤)を右に回転させる。



(6) ジョイントとタンクふたを(1)～(3)と逆の手順で取り付ける。

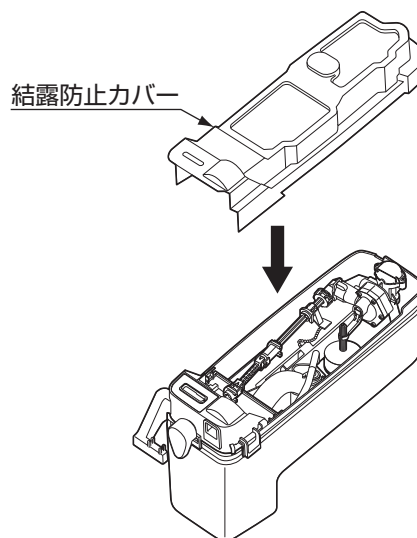
・ジョイント奥の印を上にして差し込む。



⑥取り付け完了後の確認をする。

- ・止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・正常に洗浄するか確認する。
- ・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。

⑦結露防止カバーを元に戻す。



12 大洗浄8L、小洗浄6.5L仕様への切替方法

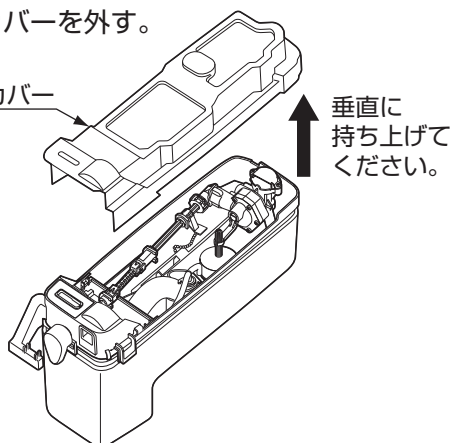
① 止水栓を閉めて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様に
お渡ししてください。



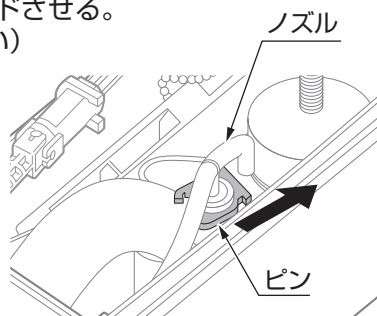
② 結露防止カバーを外す。

結露防止カバー

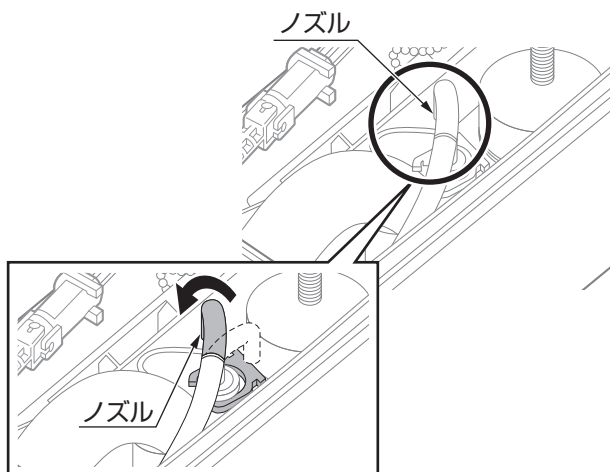


③ ノズルの向きを変える。

(1) ピンをスライドさせる。
(引き抜かない)

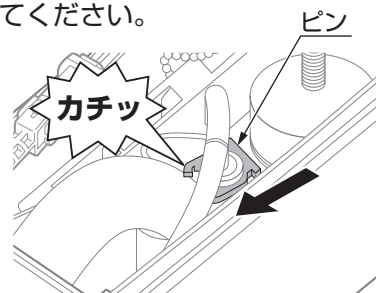


(2) ノズルを回転させる。



(3) ピンをスライドさせ、固定する。

※ピンは「カチッ」と音がする
まで取り付けてください。

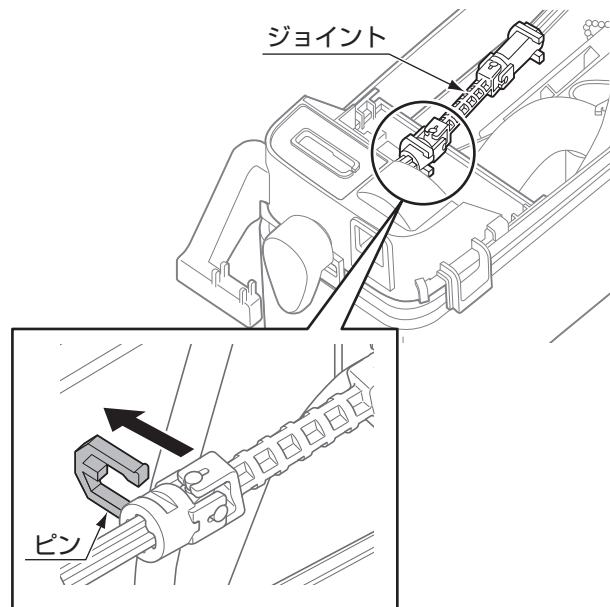


④ 止水位の位置を調整する。

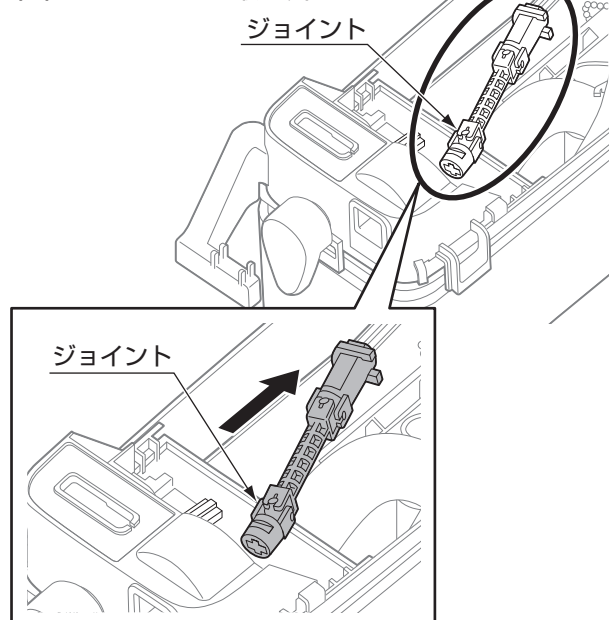
調整方法は⑥-③に従って作業してください。

⑤ 流量調整弁 (赤) と切替弁 (赤) の調整を行う。

(1) ジョイントの“ピン”を取り外す。

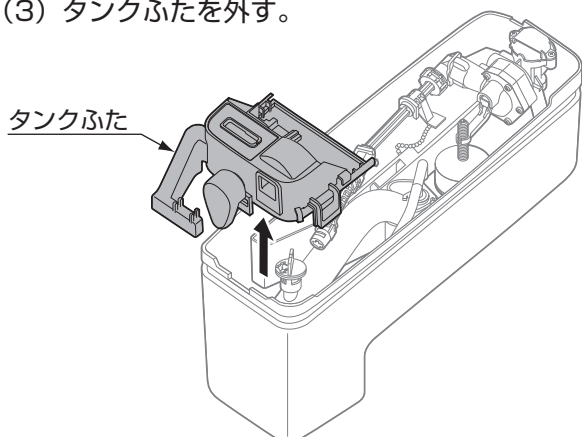


(2) ジョイントを取り外す。

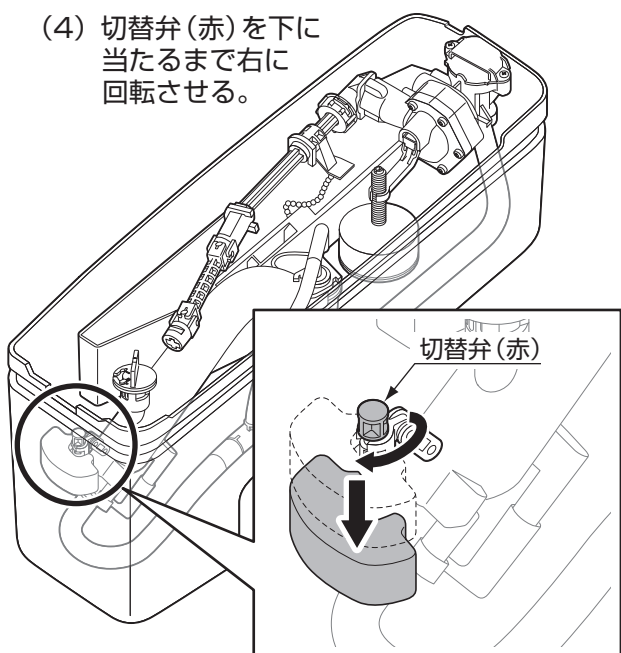


12 大洗浄8L、小洗浄6.5L仕様への切替方法（つづき）

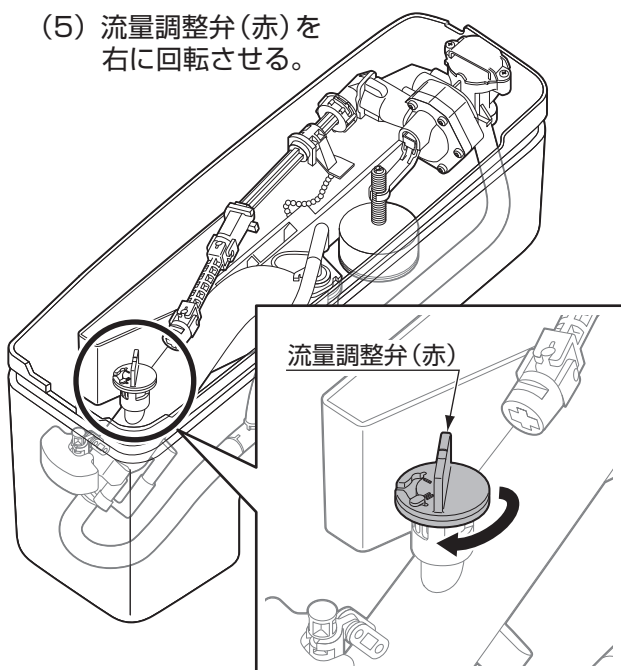
(3) タンクふたを外す。



(4) 切替弁(赤)を下に
当たるまで右に
回転させる。

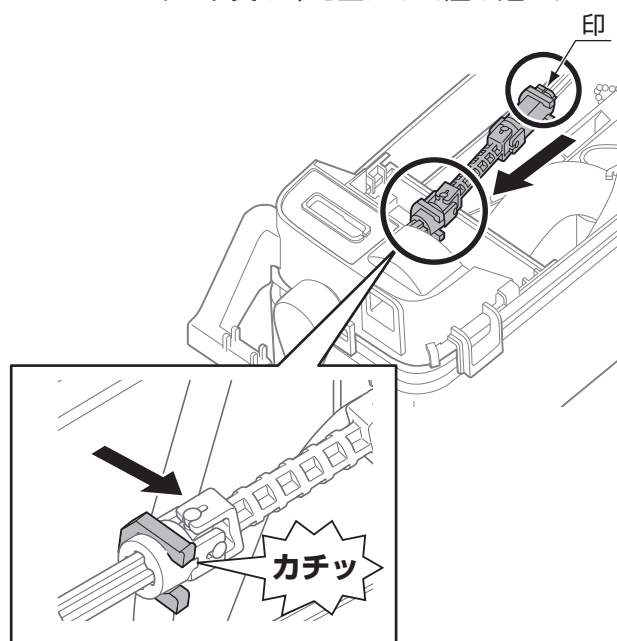


(5) 流量調整弁(赤)を
右に回転させる。



(6) ジョイントとタンクふたを(1)～(3)と
逆の手順で取り付ける。

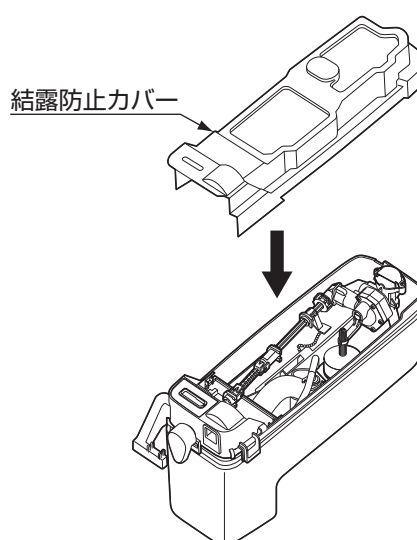
・ジョイント奥の印を上にして差し込む。



⑥ 取り付け完了後の確認をする。

- ・止水栓が開いていることを確認し、
2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への
水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・正常に洗浄するか確認する。
- ・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを
確認する。

⑦ 結露防止カバーを元に戻す。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡してください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

